



RESEARCH MODELS AND SERVICES

ヨーロッパのアカデミア機関から、 堅固なITプラットフォーム、繁殖の専門知識、 法規制に関するサポートを依頼された事例

本事例の背景と課題

2017年、イタリアの有名な大学が、トランスジェニックの動物モデルを使用した重要なサイエンス案件について提携しサポートしてくれるCROを探し公開入札を実施しました。

この大学にとっては、ノックアウト、ノックイン、ノックダウン、インデュシブル、コンディショナルなど、さまざまなタイプの遺伝子改変動物を維持・収容するのに必要な専門知識と経験を提供できるベンダーを見つけることが重要でした。

またこの大学は、コロニーの維持だけでなく、彼らの研究チームをサポートしてくれる、幅広い胚操作サービスとITシステムを有するパートナーを必要としていました。

解決策

最終的に、この大学は、この重要なプロジェクトに着手するために、ミラノの近くにあるチャールス・リバーの遺伝子改変モデル&サービス(GEMS)チームに依頼しました。そして全ての業務は、入札に記載された技術仕様に従って実施されました。

合計で70~80の独自のマウス系統が、コロニーの維持と研究者による使用のために収容されました。2年間にわたり、チャールス・リバーは79件の凍結保存、57件の再導出、4件のrevitalizationを行いました。これらは、フランスのチャールス・リバーのハイスループットembryologyプラットフォームを使用して実行されました。

チャールス・リバーは、ヨーロッパ全土にフルサービスの委託飼育施設を維持しています。ミラノだけでなく、ドイツ(ヴュルツブルク近郊)、フランス(リヨン近郊)、イングランド(マーゲート近郊)、スコットランド(エジンバラ近郊)などにも施設があります。

メリット

チャールス・リバーと提携することにより、この大学は、チャールス・リバーの経験豊富なプロジェクトマネージャーのチームと仕事をすることができました。このチームは、繁殖計画の設定に関するアドバイスを提供し、必要に応じてすぐに使用可能な実験動物のコホートを提供しました。

また繁殖と飼育に加えて、チャールス・リバーの提供するヘルスマonitoring(FELASAガイドラインに準拠)とジェノタイピングサービスも利用することができました。このように必要なすべてのサービスが切れ目なく効率的に提供されたのです。

法規制に関するサポート

この大学のためにチャールス・リバーで飼育されていたマウス系統のいくつかは、公式ガイドラインに記載されているharmfulな表現型を示していたため、イタリア保健省による正式な承認が必要でした。チャールス・リバーのプロジェクトマネージャーは、この件に関して、大変重要なサポートを提供しました。保健省に求めに応じ、必要とされるseverity評価レポート作成に対応したのです。

EVERY STEP OF THE WAY



IT プラットフォーム：インターネットコロニー管理システム (ICM™)

マウス系統とプロジェクト全体の複雑さ抱えていたこの大学は、チャールス・リバーが実行した作業に非常に満足されていました。また必要としていた幅広いサポートサービスと堅固かつ便利なインターネットコロニー管理システム (ICM™) の両方を備えたベンダーである当社と協働できたということも非常に喜ばれていました。

ICM™ を使用すると、以下の点で研究者の方々にサポート支援できます。

- チャールス・リバーとリアルタイムで通信して、データの正確性を確保し、プロジェクトの目標に照準を合わせる
- プロジェクト情報と文書をオンラインで確実に保存し、記録管理を簡素化する

- 分かりやすくユーザーフレンドリーなインターフェースにより、迅速かつ効率的に作業する
- プロジェクトの進捗を 24 時間 365 日いつでも追跡管理できる

プロジェクトの発展という観点から考えると、ICM™ は根本部分であり、この大学の重要な研究が止まらずに確実に進むようサポートすることができました。動物施設の改修が完了した時、コロニーの管理は ICM™ を介して、この大学で働くチームメンバーに「移管」され、チャールス・リバーの InsourcingSolutionsSM (チャールス・リバーのスタッフイングサービス) を採用することになりました。